

**■授業の目的及び到達目標**

中国語教育に関する基礎的な事項を学ぶ。中国語教育の歴史、中国語教育の現状、教材研究、教材開発、学習辞典、授業の展開、テストと評価についてなど多岐にわたり概観し、考察していくことを目的とする。教育の理論と実践を備えたインストラクターになることを目標とする。

■授業計画

- 1 教育の取り組み
教育の在り方や授業とは何かを考え、教科教育法の概要を理解する。そのため、中国語教育において必要な内容をそれぞれ簡単に説明する。
- 2 中国語教育の歴史
日本における中国語教育の歴史を概観する。中国語教育の始まりから現代に至るまで取り上げる。
- 3 中国語教育の現状と課題
現在、中国語教育の置かれている現状と問題点を学校別、教授法別、教科法別から概観する。インターネットを利用した学習方法なども考察する。
- 4 中国語教授法（1）
中国語教授法に関し、如何に教科書が編纂され使用されたか、現状と照らし合わせながら考える。
- 5 中国語教授法（2）
中国語教授法の実践として、1年生の必修で使用するテキストを例に授業デザインを自ら行う。
- 6 中国語授業の振り返り
1年次もしくは現時点で学んでいる中国語の授業を振り返り、中国語の授業に関し検討する。
- 7 教員の役割と要件、学習者論
理想的な中国語教員像について、履修者で意見を出し、考察する。また、学習者の立場から、発音や文法的理解力・学習適正など様々な要因に関し学ぶ。
- 8 中国語教育の導入と基礎（1）
中国語発音表記の歴史について考える。ピンイン表記が確定するまでの試みを確認する。発音表記法について現状の問題点を含め概観する。
- 9 中国語教育の導入と基礎（2）
発音の導入法と練習方法について考える。如何にしたら効果的に教授できるか検討する。音声確認ソフトの利用などについても確認する。
- 10 中国語教育の導入と基礎（3）
中国語の動詞述語文と離合動詞について考える。動詞を中心にテキストを分析してみる。
- 11 中国語教育の導入と基礎（4）
形容詞述語文と比較文について考える。テキストにおける形容詞、形容詞述語文を分析してみる。
- 12 中国語教育の導入と基礎（5）
名詞述語文と中国語の品詞について考える。中国語の名詞述語文をテキストにおいて分析する。
- 13 前期まとめ、検証テストとフィードバック
前期の授業を振り返る。前期の授業がどの程度理解できたか、理解度検証テストを実施する。フィードバックとしての解説を行う。

■授業の方法

毎回講義形式で行うが、一方的にならないようにする。各項目について確認後、意見をお互いに議論することで、その内容について理解や考え方を深めていく。適宜、担当を決めて発表を行う。

■予習・復習

予習として、約1時間、教科書を事前に読み込み授業に臨み、各項目の内容を理解した上で出席することが望ましい。復習として、約1時間、自分が受講している中国語の授業と学習した項目を照らし合わせ、問題点や改善点を積極的に探る。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

前期・後期の期末テスト（30%）、授業中の各項目の発表（40%）、前期後期のレポート点を（30%）加味し、総合的に判断する。課題や発表の内容については、授業中に指示する。

■教科書・参考書

『中学校学習指導要領解説 外国語編』（文部科学省）

『中国語の教え方・学び方—中国語科教育法概説—』（興水優著、日大文理学部叢書）

■関連する科目

総合中国語および必修科目、読解Ⅰ・Ⅱ、文法作文Ⅰ・Ⅱ、会話Ⅰ・Ⅱ、中国語学概論、中国語科教育法Ⅱ